

音更町総合計画推進委員会会議結果（要旨）

会議名	第3回音更町総合計画推進委員会
開催日時	平成30年1月16日（火） 午後3時00分から午後4時30分
開催場所	音更町役場庁舎2階庁議室
委員出席者	津久井委員長、荒川委員、加藤委員、小林委員、杉原委員、畠委員、宮崎委員、吉川委員
オブザーバ出席者	北海道十勝総合振興局地域創生部地域政策課主査（地域創生） 若槻氏
町側出席者	渡辺企画財政部長、高橋企画課長、樋田子ども福祉課長、草森子ども福祉係長、水戸子育て支援係長、西岡企画調整係長、松嶋企画調整係主事（教育委員会）草浦学校教育課長、加藤総務係長
傍聴者	なし
議題・諮問内容	<ol style="list-style-type: none"> 1 開会 2 あいさつ 3 議件 <ul style="list-style-type: none"> （1）重点施策推進管理評価調書、総合戦略推進管理評価調書の検証について 4 その他
会議資料	<ul style="list-style-type: none"> ・音更町総合計画推進委員会議案 ・重点施策推進管理評価調書、総合戦略推進管理評価調書 ・小学校における少人数学級実現のための町費負担臨時教諭の配置について ・子ども・子育て支援新制度の実施に伴う本町の教育・保育サービス施策の展開について ・（冊子）第5期音更町総合計画後期分、音更町まち・ひと・しごと創生総合戦略、音更町まちづくり町民アンケート結果報告書
会議結果	下記のとおり
出された主な意見等	<p>【教育】</p> <p>委員：まちづくり町民アンケートは、小中学校に子どもがいない方も含めたアンケートで、もう少し調査対象を絞った方が、それぞれの指標について正しく評価できるのではないか。</p> <p>事務局：各分野の個別計画作成の際には調査対象を絞ってアンケートを実施することもあるので、それらの指標を使うというやり方もあると思う。</p> <p>委員：少人数学級による教育を受けた側がどう変わっていったのか、計測可能であれば把握した方がよいのではないか。</p> <p>委員：少人数学級は今後も続けてもらいたいと思うが、財源は今後もふるさと納税で続けていくのか。</p> <p>事務局：寄附がなくなったら財源をどうするのかという問題はありますが、町としては継続したいという考え方を持っている。</p> <p>委員：サッカー場以外のスポーツ施設の整備計画はあるのか。</p>

事務局：台風で被害を受けたパークゴルフ場等の復旧を最優先に取り組んでいるのが現状。

【子ども福祉】

委員：子育て支援センターを1か所増設して目標達成という評価になっているが、アンケートの満足度はほぼ横ばいとなっており、センターが増えたにもかかわらず満足度が横ばいである要因は。

事務局：子育てに関係する人のみに行ったアンケート結果ではないので、こういった結果になっていると思う。

委員：新たな増設のニーズはないのか。

事務局：国の基準は中学校区に1つとなっており、一定のニーズには応えられていると考えている。

委員：病児保育のニーズがかなりあるということで、予算が膨らんでいくのでは。

事務局：28年4月から病時保育が始まったが、当初想定していた人数から大幅に増えており、今年度も予算を補正して対応している。利用状況を見て今後の予算等についても検討したい。

委員：どのように周知しているのか。

事務局：母子手帳発行時に、子育てガイドを渡しており、その中の様々な子育てに関する情報のひとつとして案内している。また、転入者で小学生以下のお子様がいる世帯には役場の窓口と木野支所でガイドを配布しているほか、子育て専用サイトすくすくでも周知している。

委員：待機児童の解消に至っていないことが課題として挙げられているが、どのくらいの方が入れない状況なのか。

事務局：若干名ではあるが、0歳児が年度の途中で生まれるということで、順次待機になってしまっているほか、育休制度の浸透等により保育園利用の低年齢化が進んでいると感じている。人数は多くはないが、いずれの時期でも入ることができる環境を作らなくてはならないと考えている。

委員：働き方の多様化等により、夜の時間帯での保育ニーズはないのか。

事務局：今後そういった声が増えてくるだろうと考えている。

委員：管内でも中学生まで医療費を無料化している自治体がある中で、本町もどうにかできないのか子育て世代の間では話題になる。

事務局：町が色々な政策を実行する中で、ニーズの高いところから順次対応していると思うが、予算配分の重点をどこに置くのかは、自治体により様々で、子育て世代の方が注目している予算もあれば、高齢者の方が注目している予算もあると思う。例えば、病時保育は十勝管内では本町のみが実施しているほか、保育料の軽減や就学援助の認定倍率引上げなど、他にはなくて本町にしかない事業もあり、それらも含めて、町全体の観点で見たいと思う。

委員：子どもの遊ぶ場の充実が必要ではないか。